



兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学  
先端医工学研究センター

第33回 医工連携セミナー

The 33th AMEC Medical Engineering Seminar



2021年10月21日(木) 18:00~19:00

会場: オンライン開催 (ZOOM)

開催前日までに事前登録が必要です (定員 200名)

講師 <sup>たかや</sup> <sup>ともふみ</sup> 高谷 具史 先生

兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科 科長  
神戸大学大学院 循環器高度医療探索学 客員准教授

「 循環器疾患診療のこれまでとこれから 」

循環器疾患は脳血管疾患と並んで、悪性疾患以外では日本人の死因の上位を占めています。高齢者に多い疾患で、内服薬での治療も進んでいますが、病気が進行した場合には、侵襲的な介入、カテーテルによる治療や外科的手術が必要となってきます。私が専門にしている狭心症や心筋梗塞に対するカテーテルインターベンションは1977年に、冠動脈バイパス手術は1967年に始まりました。まだ50年程度の歴史しかありませんが、この分野の革新はスピーディーで、私が医師になってからの20年に限っても、数々のエポックメイキングなデバイスが登場してきました。おかげで、我々はもちろん、患者さんは大きな恩恵を受けていますが、まだまだ改良が必要な問題も存在しています。本講演では循環器疾患診療の歴史や現状を「これまで」として提示させていただいて、医工連携におけるアイデアを「これから」として、みなさんと一緒に考えてみたいと思っています。



講師プロフィール



高谷具史 (Tomofumi Takaya, M.D., Ph.D.) 1999年神戸大学医学部卒業。卒業後、神戸大学病院、兵庫県立姫路循環器病センターで初期研修を行った後、神戸大学大学院で学位を取得(血管内皮機能や酸化ストレスの研究)。以後、済生会中津病院、兵庫県立姫路循環器病センターで臨床医としての研鑽を積んだ後、2013年からの3年間、神戸大学循環器内科で助教、病棟医長を務めた。2016年から兵庫県立姫路循環器病センターに復帰、2020年から科長を務めている。専門は冠動脈疾患に対するカテーテルインターベンション。

主催: 兵庫県立大学先端医工学研究センター

共催: 神戸リサーチコンプレックス協議会 ・ 日本医工ものづくりコモンズ

Language(言語): Japanese (日本語)

参加受付フォーム: [https://zoom.us/webinar/register/8316316905234/WN\\_IHSZkXksSUa8oMQWJzRy3g](https://zoom.us/webinar/register/8316316905234/WN_IHSZkXksSUa8oMQWJzRy3g)

ご不明な点がございましたら、兵庫県立大学先端医工学研究センター事務局 ([info@amec-hyogo.org](mailto:info@amec-hyogo.org)) までご連絡ください。



AMEC

Advanced Medical Engineering Center